

令和元年度 e・アンケートモニター  
第1回アンケートNo.2(2)調査結果  
テーマ「手話について」

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

県では、言語である手話の普及を進め、手話を必要とする聴覚障害者の方々が手話で生活できる地域社会を実現するため、「山口県手話言語条例(仮称)」の制定に向けた検討を進めています。

この調査では、県民の皆様の手話に対する印象や、手話が使いやすい社会に向けた取組に関するご意見をお伺いし、今後、県において展開する施策を検討する上での参考とさせていただきます。

### 2 調査実施期間

令和元年7月17日(水)～7月31日(水)

### 3 調査対象

令和元年度 e・アンケートモニター 116 人

### 4 回答状況

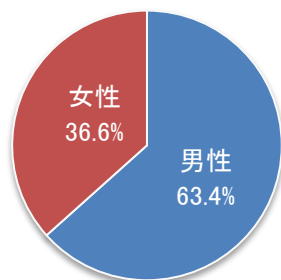
回答者 71 人(回答率 61.2%)

### 5 調査担当課

山口県健康福祉部障害者支援課

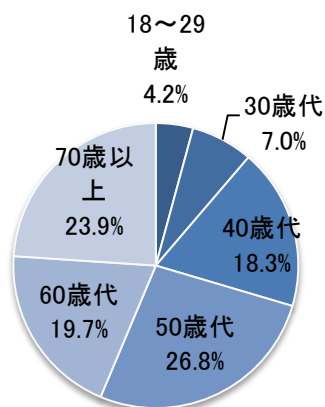
## II 回答者の属性

### ■性別



区分	人数	%
男性	45	63.4
女性	26	36.6
計	71	100.0

### ■年代別

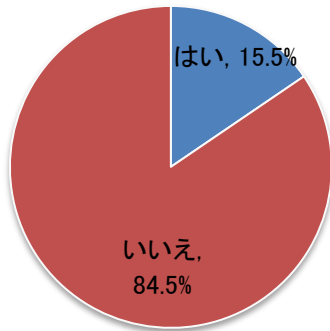


区分	人数	%
18～29歳	3	4.2
30歳代	5	7.0
40歳代	13	18.3
50歳代	19	26.8
60歳代	14	19.7
70歳以上	17	23.9
計	71	100.0

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が 100.0%とならない場合があります。

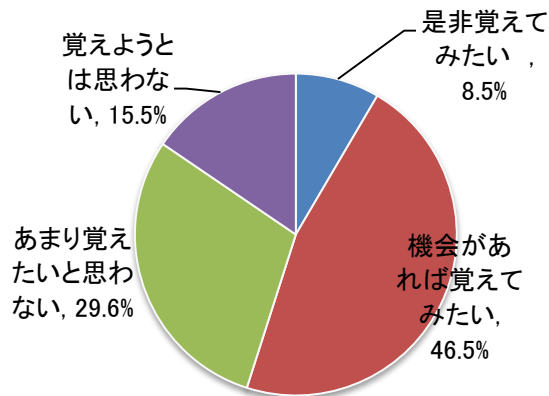
### Ⅲ 調査結果

Q 8 あなたの周囲に手話を使っている人はいますか。(1つのみ)



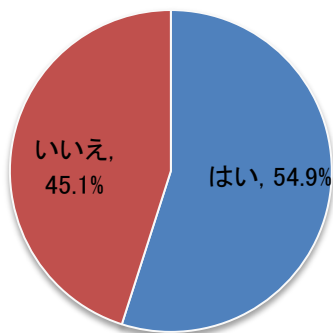
選択肢	人数	%
はい	11	15.5
いいえ	60	84.5
計	71	100.0

Q 9 機会があれば、手話を覚えてみたいと思いますか。(1つのみ)



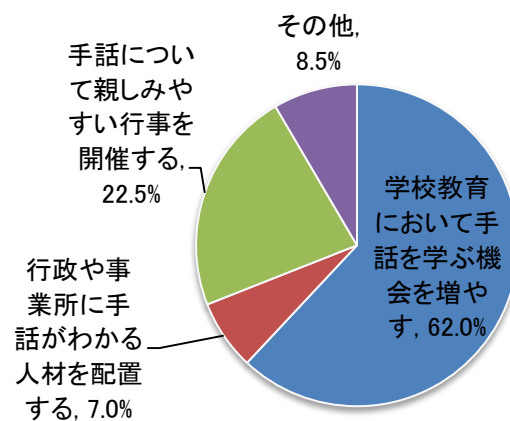
選択肢	人数	%
是非覚えてみたい	6	8.5
機会があれば覚えてみたい	33	46.5
あまり覚えたいと思わない	21	29.6
覚えようとは思わない	11	15.5
計	71	100.0

Q10 手話が、話し言葉とは違う「言語」であることを知っていますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
はい	39	54.9
いいえ	32	45.1
計	71	100.0

Q11 手話が使いやすい社会に向けて最も必要なことは何だと考えますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
学校教育において手話を学ぶ機会を増やす	44	62.0
行政や事業所に手話がわかる人材を配置する	5	7.0
手話について親しみやすい行事を開催する	16	22.5
その他	6	8.5
計	71	100.0